

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

7月組織再編に反対の声を

発令なしで異動強制-さらなる「融合化」

JR東日本は7月1日、12支社（首都圏・東北本部含む）を廃止し、36の「事業本部」に再編する大規模な組織再編を行うとうとしていますが、その実態はさらなる業務融合化攻撃であり、労働者の権利を根本から解体する攻撃です。

権利を破壊する重大な攻撃

当初提案では、「事業本部全体で一つの事業場」としていました。しかし、労働基準法が定める「事業場」は「同じ場所」を基準にした考え方であり、労基法は「事業場」を単位として適用されています。今回の提案は、広大な地域とバラバラな職種を「ひとまとめ」にして、労基法の根幹を解体する攻撃です。



人事・賃金制度改悪、機能保全外注化に対しストにたつ動労千葉（4月1日）

また事業本部内から「異動」という考え方も解体していることも重大です。

駅や運転士、車掌や検修、設備関係などの職種や職場が大きく変わっても、「業務内容が変わっただけ」「発令は必要ない」というので、「統括センター」という枠も取り払っ

て、さらなる融合化を進めようとしています。

攻撃は矛盾に満ちている

しかし、会社の攻撃は矛盾に満ちています。「事業本部全体で一つの事業場」という考え方はあまりに乱暴で、厚生労働省も許可を出さず、会社も今年1月に修正提案を出さざるを得なくなりました。会社の攻撃は決して万全ではないのです。

また、「ジョブローテーション」「統括センター」などは大々的に導入されたものの、数年のうちに解消されています。なんの合理性もないからです。

結局、その目的は職場の団結を破壊し、現場から声を上げることを諦めさせることだったのです。しかし列車を動かし、安全を守っているのは現場で働く仲間たちです。だからこそ、現場の団結と、闘う労働組合にこそ会社施策を打ち破る力があります。

7月1日の組織再編・融合化攻撃に「反対」の声をあげよう。動労千葉とともに闘おう。